

巡検案内書
(2012.9.14-17)



いざ、槍ヶ岳へ

もくじ

- ・ メンバー紹介
- ・ 参加費について
- ・ 持ち物
- ・ タイムテーブル
- ・ 利用施設場所・登山ルート
- ・ 槍ヶ岳について
- ・ 根尾谷断層について
- ・ Memo

☆☆メンバー紹介☆☆

(先生) 吉富先生

(M2) 中西裕也

(M1) 伊神雅乃

岩田真

(4年) 森岡剛

(3年) 工藤崇昭

野村聡司

今年も地研夏合宿がやって参りました。今年は日本アルプス槍ヶ岳(3086m)です!!登山経験が少ないメンバーですが、無事に帰ってこられるように頑張りましょう。

目指すは、山頂の槍ヶ岳Tシャツ(^ ^)

☆☆持ち物☆☆

必需品

- ☐ カップ (Shimitex はアウト!!)
- ☐ 防寒着...※
- ☐ 登山靴
- ☐ 手袋
- ☐ 弁当 (9/16 分は槍ヶ岳山荘にお願いしています)
- ☐ 水 (3L くらい)
- ☐ お金
- ☐ ヘッドランプ or 懐中電灯
- ☐ 地図
- ☐ ティッシュ

あった方がいいもの

- ☐ 帽子 (ヘルメット)
- ☐ タオル
- ☐ 着替え一組
- ☐ お菓子&飴など
- ☐ デジカメ
- ☐ 洗面具

※ 槍ヶ岳山荘の気温は 8~12℃です。

服は重ね着できると良いでしょう。靴擦れしないように、靴下は厚手のものを！

☆☆参加費について☆☆

2万円+個人的なご飯やお土産に要するお金

(2万円の内訳)

3650 円 (富久の湯素泊まり)

余ったら

3220 円 (清兵衛素泊まり)

キャッシュバックします♪

10000 円 (槍ヶ岳山荘 夕食、朝食、昼食込み)

その他 (岩田新幹線代カンパ金、飲み代、研究室お土産代など)

☆★タイムテーブル★★☆

8/14（金）

10:00 広島大学発。

西条 IC（山陽道）→神戸 JCT（中国道）→吹田（名神）→一宮 JCT（東海北 陸道）

20:18 高山駅にて岩田君と合流。

22:00 富久の湯着。

8/15（土）

05:00 富久の湯発。

06:00 新穂高温泉発。

15:00 槍ヶ岳山荘到着。

槍ヶ岳山荘では、夕食、次の日の朝食、お弁当を準備していただいています。

8/16（土）

05:00 起床。

05:35 日の出を拝む。

06:00 朝食後、槍ヶ岳山荘出発。

※荷物は山荘に預けて、カメラ等だけ持って行きましょう☀

07:00 槍ヶ岳山頂到着。

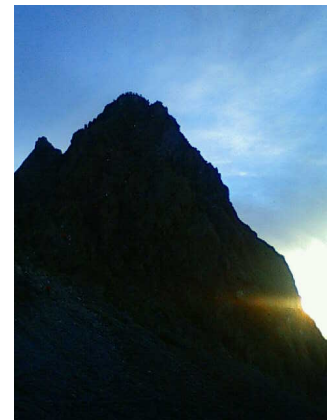
08:30 槍ヶ岳山荘から下山開始。

16:00 新穂高温泉到着。温泉入浴。

17:00 新穂高温泉出発。

18:30 清兵衛着。

19:00 夕食&買い出しに高山の街へ。



8/17（日）

08:00 清兵衛発。朝食&根尾谷地震断層観察館へ出発。

国道 158 号→東海北陸自動車道（高山西 IC～関広見 IC）→国道 418 号→国道 157 号→県道 255 号

11:00 根尾谷地震観察館到着。断層の観察。

13:00 昼食、広島へ向かう。

大垣 IC（名神）→吹田 JCT（中国道）→神戸 JCT（山陽道）→西条 IC

20:00 広島大学着。

お疲れ様でした!!

☆☆利用する施設の場所☆☆

↑ 富山



↓至名古屋

上から

- ・新穂高温泉
(登山開始地点)
- ・富久の湯
(9/14 の宿)
- ・清兵衛
(9/15 の宿)
- ・根尾谷地震観測館

☆★槍ヶ岳登山ルート（概略図）★★☆



- 新穂高温泉
→穂高平小屋
→槍平小屋
(給水ポイント)
→槍ヶ岳山荘
山頂☀
→大喰(ばみ)岳
→中岳
→南岳
→南岳小屋
→槍平小屋
→穂高平小屋
新穂高温泉

☆☆槍ヶ岳について☆☆

槍～穂高連峰には、白亜紀～古第三紀の火成岩類が主に分布しています（図1）。この火成岩類は、古いものから奥又白花崗岩、屏風ノ頭文象斑岩、穂高安山岩、滝谷花崗閃緑岩に分けることができます（図2）。

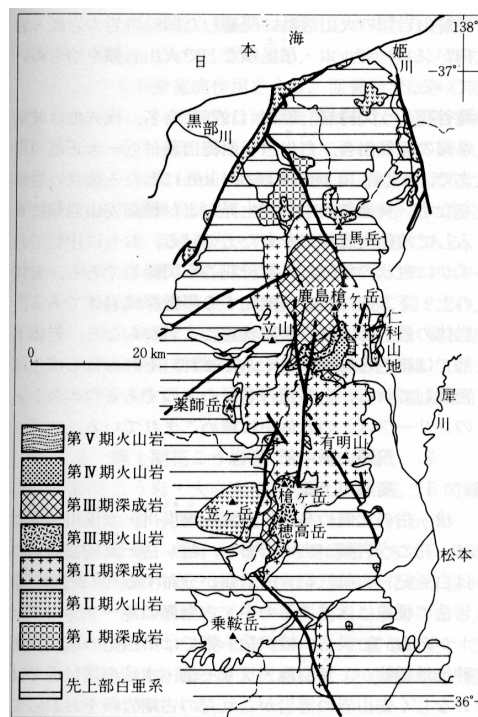


図1

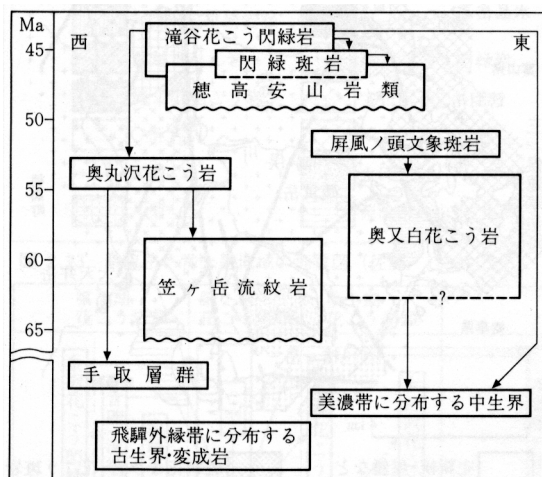


図2

また、槍ヶ岳山荘の北の鞍部から南の稜線にそって、飛騨乗越付近まで槍ヶ岳結晶片岩が分布しています。この結晶片岩は緑色変成岩相に属します（塩基性火山岩起源のアクチノ閃石緑泥石片岩）。槍ヶ岳山荘周辺には砂質泥岩起源の電気石をふくむザクロ石黒雲母片岩が分布しており、この黒雲母は微小片の集合なので白亜～古第三紀の花崗岩による接触変成作用で生じたものだと言われています。

これらの結晶片岩の周りには穂高安山岩が分布し、結晶片岩を不整合で覆うか、または断層で接しています。

私たちが登山する過程では、主に滝谷花崗岩、穂高安山岩の上を歩くことになります。

雑話～日本の名峰、槍ヶ岳～

槍物語

「世に人の恐るる嶺の槍の穂も やがて登らん我に初めて」

「極楽の花の台か槍ヶ岳 のぼりてみれば見えぬ里なし」

日本のマッターホルン・槍ヶ岳。

このアルピニストあこがれの穂先 3,180m に初めて立ったのは、江戸後期の山岳修行僧・播隆上人でした。時に 1828 年 7 月、ウィンパーのマッターホルン初登頂より 37 年も前のことで

す。その後、1880年に登った英国人ガウランドは、山頂からの景色を「ジャパニーズ・アルプス」と命名。この名称は、やがて英国人ウエストン（1892年に登頂）によって世界に広められ、同時に Mt.YARI の存在も世界の登山家に知られるようになりました。

その人物像からはちょっと信じられませんが、芥川龍之介もその槍ヶ岳に登っています。1909年8月12日、東京府立三中の同級生3人とともに穂先を征服したのは17才の芥川。その山行の様子は槍ヶ岳に登った記「槍ヶ岳紀行」などの作品に見ることが出来ます。

＊ 槍ヶ岳で見られる高山植物＊



ハクサンイチゲ



ミヤマリンドウ



イワベンケイ



アオノツガザクラ



タカネシオガマ



イワギキョウ



シコタンソウ



クモスミレ



チングルマ

参考HP <http://www.yarigatake.co.jp/about/>

参考文献 山下 昇ほか,1988,中国地方Ⅰ、Ⅱ

☆☆根尾谷断層について☆☆

1891年10月28日午前6時38分50秒に東海地方を襲ったマグニチュード8.0という巨大な濃尾地震は、岐阜県本巣市根尾の北緯35度35分、東経136度20分の地点を震源としました。日本の内陸部で起きた地震としては最大級の直下型地震で、本巣市根尾の水鳥（みどり）地区には、上下差6メートルにも及ぶ根尾谷断層が地表に出現しました。根尾谷断層はわずかな範囲にも拘わらず、縦ずれ、横ずれともに極めて大きな幅で出現しています。現在では国指定の特別天然記念物となっています。



横ずれ断層



縦ずれ断層

☆☆Memo☆☆